

福島第二原子力発電所からのお知らせ **TEPCO**

FUKUSHIMA DAINI NUCLEAR POWER STATION NEWSLETTER

Vol.72

1～4号機は燃料の安定冷却を継続しています。発電所の最新状況やさまざまな取り組みをお知らせします。

2020年8月3日 発行

■ 本号の内容

- 廃止措置計画認可申請書の概要について
- みなさまのご質問におこたえします
- みなさまの声を聞かせください
- 発電所構内の空間線量
- 燃料の保管と冷却状況
- 「道の駅ならは物産館」リニューアルオープン!!
- 発電所データBOX



盛夏を迎えたいわなの郷（川内村）撮影日：2020年7月6日

廃止措置計画認可申請書の概要について

当社は、原子炉等規制法に基づき、福島第二原子力発電所の廃止措置計画認可申請書を、5月29日に原子力規制委員会へ提出しております。

前回号では、廃止措置の全体工程4段階のうち第1段階である「解体工事準備期間」に実施する具体的事項①をご紹介しましたが、今回は、以下の具体的実施事項②および③の概要について、ご説明いたします。

第1段階「解体工事準備期間(10年間)」に実施する具体的事項

- ①汚染状況の調査 ②汚染の除去 ③放射線管理区域外（屋外）の設備の解体撤去
④使用済燃料プールからの核燃料物質の搬出（取出し） ⑤放射性廃棄物の処理処分

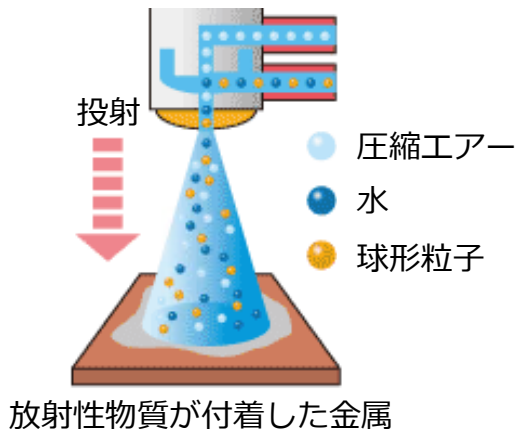
■ ②汚染の除去について

廃止措置に伴う放射線被ばくを可能な限り低減するため、除染による被ばく量の低減が有効と考えられる機器や配管等を対象に、機械や薬品を用いて除染を行います。また、除染により新たに発生した廃棄物については、関係法令等に基づき種類・性状に応じて適切に処理・処分していく方針です。

除染の方法

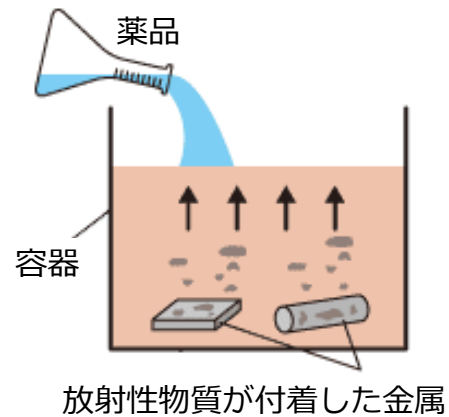
機械的除染

放射性物質を含む汚れを金属などの硬い粒（球形粒子）をぶつけて削り取る方法



化学的除染

放射性物質を含む汚れを薬品を使って溶かす方法



『出典：公益財団法人原子力安全技術センターホームページをもとに作成』

■ ③放射線管理区域外（屋外）の設備の解体撤去について

- 今後、使用しない屋外に設置している設備・機器については、安全確保の機能に影響を与えない範囲内で解体撤去工事を行ってまいります。
- 解体物のうち、有用物は可能な限り有効利用に努め、廃棄物は法規制に従い適切な処理・処分方法を検討してまいります。
- なお、第1段階では、放射線管理区域内での解体撤去工事はいりません。



解体撤去となる電気設備（一例）

■ 次回は「④使用済燃料プールからの核燃料物質の搬出（取出し）」について、ご説明いたします。

みなさまのご質問におこたえします

Q. 廃止措置に伴い、発電所に保管している使用済燃料は、今後どうなるのでしょうか？

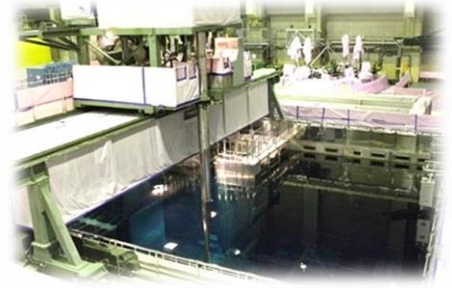
A. 当所は、すべての使用済燃料（約1万體）を使用済燃料プールで保管し、安定冷却を行っています。

今後、使用済燃料の取扱いについては、以下のように、進めてまいります。

- 発電所内に保管中のすべての使用済燃料（約1万體）は、遅くとも廃止措置終了までに再処理施設へ全量搬出し、再処理事業者へ譲り渡す方針ですが、できるだけ早期の搬出に努めてまいります。
- 廃止措置を円滑に進めるため、他原子力発電所でも導入・計画されている乾式キャスク*による貯蔵施設を構内に設置し、使用済燃料プールからの燃料取出しを計画的に進めてまいります。

なお、貯蔵規模等の詳細については、今後具体化し、地域の皆さまに丁寧にご説明の上、ご理解を得ながら進めてまいります。

*乾式キャスク 十分に冷えた使用済燃料を金属製の頑丈な容器に収納し、水や電源を使用せず空気の自然対流により冷却する貯蔵方式で、安全性に優れ国内外で数多く採用されております。



みなさまの声をお聞かせください

「福島第二原子力発電所からのお知らせ」をご覧ください、ありがとうございます。

今後の広報紙づくりのため、ご意見・ご要望など、皆さまの声を是非お聞かせください。



こちらのメールアドレスにてお待ちしております。

fuku2kouhou@tepcoco.jp (受信専用)

※いただいた内容は、広報紙づくりのご参考にするを目的としており、それ以外の目的での使用はいたしません。

発電所構内の空間線量

(単位はマイクロシーベルト毎時)

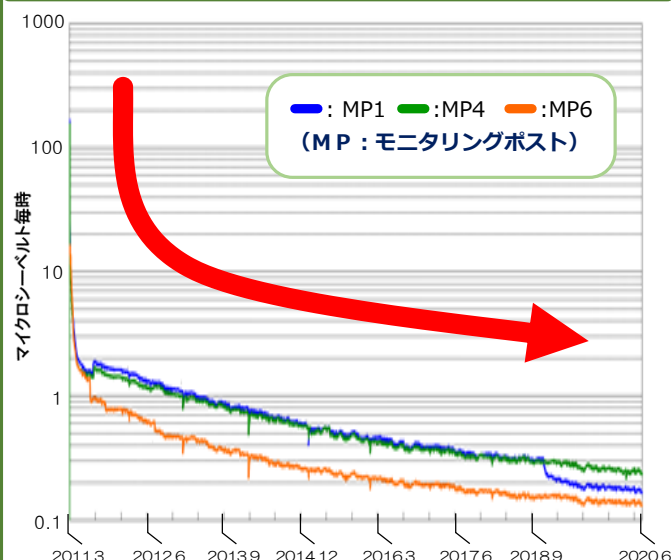
発電所構内のモニタリングポスト計測値 (MP1~7)

2020年7月26日 時点

0.08 [MP7] ~ 0.25 [MP3]

値は震災後、現在に至るまで低下傾向

震災から現在まで (2011年3月16日~2020年6月30日)



参考データ

(単位はマイクロシーベルト毎時)

発電所周辺町村の空間線量

富岡町 (帰還困難区域含む)	0.07 ~ 1.77	楢葉町	0.04 ~ 0.21
広野町	0.06 ~ 0.17	川内村	0.05 ~ 0.25

原子力規制委員会 放射線モニタリング情報より (2020年7月26日 時点)

世界の主要都市の空間線量

ロサンゼルス (アメリカ)	0.10	ソウル (韓国)	0.13
上海 (中国)	0.59	ロッテルダム (オランダ)	0.33

出典: 福島県放射線測定マップ、在大韓民国日本国大使館ホームページより

燃料の保管と冷却状況

- 燃料はすべて、1~4号機の使用済燃料プールで保管しています。プール水は約30℃で安定的に冷却し、常に監視しています。

2,534体

1号機

2,482体

2号機

2,544体

3号機

2,516体

4号機

「道の駅ならは物産館」リニューアルオープン!!



6月19日「道の駅ならは物産館」が9年3ヶ月ぶりにリニューアルオープンしました。1階は、農産物や特産品の販売とアイスショップ、2階は休憩スペースとなっています。



季節ごとの新鮮な野菜や地元の特産品などが販売されています



檜葉町のお酒「檜葉の風」をはじめ、近隣の町村の特産品なども取りそろえられています



天神岬でおなじみのジェラートが道の駅でも楽しめます



お土産品コーナーの他、生花なども販売されています。

発電所データBOX

福島第二原子力発電所で働く人は2,177人*です。(2020年6月1日現在)
*1日あたりの入構者数は約1,000人

	東京電力HD	協力企業	合計
県内	384人	1,499人	1,883人 (86%)
県外	57人	237人	294人 (14%)
合計	441人	1,736人	2,177人 (100%)

編集後記

先日、休日を利用して川内村にあるいわなの郷へ行ってきました。いわなの釣り堀では、竿のレンタルやえさも取りそろえられており、手ぶらで楽しむことができました。釣りあげたいわなは、管理人の方がその場で捌き、囲炉裏を使ってふんわり仕立てに焼き上げて提供してくれます(持ち帰り可)。また、郷内にあるレストハウスでも、注文を受けてから生きたいわなを捌くということで、新鮮な刺身や塩焼き定食が味わえます。自分で釣り上げたいわなを縁に囲まれた大自然で味わうのは格別! 皆さんも、ぜひ川内村の自然を満喫してみてください!【佐】



福島復興への責任を果たすため、燃料の安定冷却を継続し、安全・安心を第一に廃止措置を進めてまいります。

編集発行責任者:

東京電力ホールディングス株式会社
福島第二原子力発電所 広報部 企画広報グループマネージャー
〒979-0695 福島県双葉郡檜葉町大字波倉字小浜作12
Tel 0240-25-1353 (受付時間(平日)午前9時~午後5時)
fuku2kouhou@tepcoco.jp (受信専用)



福島第二原子力発電所の
ホームページもご覧ください。

<https://www.tepcoco.jp/nu/f2-np/index-j.html>